

<北海道医療計画 南空知地域推進方針より抜粋>

(5) 患者の受療動向

(入 院)

- 本圏域の入院自給率は 58.29%であり、流出した 41.71%のうち、ほとんどが札幌圏に流出しています。
- 市町別では、特に夕張市、美唄市、南幌町、由仁町及び長沼町の入院自給率が低い状況となっています。

【入院患者の受療動向（流出）】

患者所在 市町	圏域内 自給率	流出先（医療機関所在）圏域の構成比					
		札幌	東胆振	後志	その他	上川中部	後志
夕張市	41.92%	56.73%	0.58%	0.36%	0.26%		
岩見沢市	73.94%	24.53%	0.73%	0.15%	0.14%		
美唄市	48.67%	27.01%	23.87%	0.19%	0.09%		
三笠市	68.07%	29.39%	2.30%	0.03%	—		
南幌町	11.61%	88.20%	0.02%	0.16%	—		
由仁町	34.72%	62.17%	1.37%	0.53%	0.33%		
長沼町	17.42%	81.67%	0.20%	0.17%	0.41%		
栗山町	52.77%	46.84%	0.09%	0.08%	0.15%		
月形町	57.14%	37.66%	3.77%	0.78%	0.43%		
南空知	58.29%	37.05%	3.90%	0.18%	0.15%		

* 入院患者、外来患者の受療動向：北海道医療データ分析センター事業（令和4年度受療動向）

(外 来)

- 本圏域の外来自給率は 85.33%であり、流出した 14.67%のうち、ほとんどが札幌圏に流出しています。
- 市町別では、夕張市、南幌町、由仁町及び長沼町の外来自給率が 80%を下回っています。

【外来患者の受療動向（流出）】

患者所在 市 町	圏域内 自給率	流出先（医療機関所在）圏域の構成比					
		札幌	東胆振	西胆振	その他	上川中部	後志
夕張市	79.01%	19.19%	0.74%	0.12%	0.52%		
岩見沢市	91.65%	7.83%	0.23%	0.05%	0.06%		
美唄市	90.22%	4.72%	4.72%	0.21%	0.06%		
三笠市	93.19%	6.20%	0.41%	0.09%	0.05%		
南幌町	46.19%	52.97%	0.07%	0.06%	0.56%		
由仁町	74.04%	23.69%	1.35%	0.16%	0.52%		
長沼町	59.70%	39.37%	0.10%	0.08%	0.54%		
栗山町	86.90%	12.63%	0.14%	0.10%	0.17%		
月形町	86.86%	11.26%	1.54%	0.17%	0.08%		
南空知	85.33%	13.26%	0.87%	0.16%	0.16%		

* 入院患者、外来患者の受療動向：北海道医療データ分析センター事業（令和4年度受療動向）

(1日平均外来患者数)

- 令和3年の「病院報告」によると、本圏域の病院における人口10万対1日平均外来患者数は、1,753.2人(全道1,305.3人)となっており、全道値を上回っています。

(1日平均在院患者数)

- 令和3年の「病院報告」において、本圏域の病院における人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「一般病床」は575.2人(全道667.3人)、「療養病床」は265.6人(全道365.1人)、「精神病床」は365.1人(全道314.7人)となっており、一般病床、療養病床では全道値を下回っていますが、精神病床では全道値を上回っています。

(病床利用率)

- 令和3年の「病院報告」によると、本圏域の病院における病床利用率は66.8%(全道76.1%)であり、病床の種類別に見ると、「一般病床」は58.0%(全道67.9%)、「療養病床」は81.2%(全道85.3%)となっており、いずれも全道値を下回っています。

(病床種類別の平均在院日数)

- 令和3年の「病院報告」によると、本圏域の病院における「一般病床」の平均在院日数は19.6日(全道17.3日)、「療養病床」は193.1日(全道182.5日)となっており、いずれの病床も全道値を上回っています。

(6) 病院・診療所等の状況

(病院)

- 病院数は、平成6年の26か所から徐々に減少しており、令和3年10月1日現在では、17か所となっています。
- 病院病床数も平成6年の4,518床から減少しており、令和3年10月1日現在では、2,534床となっています。

【病院数の推移】

区分	平成6年 (1994年)	平成11年 (1999年)	平成16年 (2004年)	平成21年 (2009年)	平成26年 (2014年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)
病院数	26	24	22	20	19	18	17	17

* 北海道保健統計年報

各年10月1日現在

【病院病床数の推移】

(単位：床)

年	総数	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床
平成6年 (1994年)	4,518	1,146	39	77	—	3,256
平成11年 (1999年)	4,546	1,096	4	77	285	3,084
平成16年 (2004年)	3,843	1,022	4	36	822	1,959
平成21年 (2009年)	3,256	1,091	4	12	720	1,429
平成26年 (2014年)	2,909	836	4	12	718	1,339
令和元年 (2019年)	2,822	818	4	0	673	1,327
令和2年 (2020年)	2,594	774	4	0	560	1,256
令和3年 (2021年)	2,534	774	4	0	500	1,256

* 北海道保健統計年報

各年10月1日現在

(診療所)

- 一般診療所は、平成6年の123か所から徐々に減少しており、令和3年10月1日現在では、104か所となっています。
- 歯科診療所は、平成6年の97か所から徐々に減少しており、令和3年10月1日現在では、92か所となっています。

【一般診療所・歯科診療所の推移】

区分	平成6年 (1994年)	平成11年 (1999年)	平成16年 (2004年)	平成21年 (2009年)	平成26年 (2014年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)
一般診療所	123	112	110	110	106	106	104	104
歯科診療所	97	95	103	103	100	96	92	92

* 北海道保健統計年報

各年10月1日現在

(薬局)

- 薬局数は、平成16年度以降、70か所前後で推移しています。

【薬局の推移】

区分	平成6年 (1994年)	平成11年 (1999年)	平成16年 (2004年)	平成21年 (2009年)	平成26年 (2014年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)
薬局	63	57	74	74	69	67	67	68

* 北海道保健統計年報

各年10月1日現在

(訪問看護ステーション)

訪問看護ステーション数は、令和3年4月1日現在では22か所となっており、増加傾向にあります。

【訪問看護ステーションの推移】

区 分	平成6年 (1994年)	平成11年 (1999年)	平成16年 (2004年)	平成21年 (2009年)	平成26年 (2014年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)
訪問看護 ステーション	—	—	9	10	15	18	21	22

* 岩見沢保健所集計数

各年4月1日現在

* 指定居宅サービス事業所(訪問看護) ※保健医療機関のみなし指定事業所を除く

(7) 保健医療従事者の年次推移

(医師)

- 全道的には医師と薬剤師は増加傾向にありますが、本圏域では、医師は減少傾向にあります。
- 令和2年と10年前の平成22年と比較すると、医師は平成22年303人(人口10万対167.0人)、令和2年274人(人口10万対176.2人)で29人の減少、歯科医師は平成22年130人(人口10万対71.7人)、令和2年121人(人口10万対77.8人)で9人の減少、薬剤師は平成22年254人(人口10万対140.0人)、令和2年255人(人口10万対164.0人)で1人の増加となっています。

【医師・歯科医師・薬剤師の状況】

職 種	平成14年 (2002年)	平成16年 (2004年)	平成18年 (2006年)	平成20年 (2008年)	平成22年 (2010年)	平成24年 (2012年)	平成26年 (2014年)	平成28年 (2016年)	平成30年 (2018年)	令和2年 (2020年)
医師	330	319	312	315	303	293	290	290	284	274
歯科医師	133	134	121	130	130	123	120	119	119	121
薬剤師	236	236	242	250	254	229	251	251	260	255

* 地域保健情報年報(「医師」・「歯科医師」・「薬剤師」調査)

各年12月末現在

(看護師・准看護師の状況)

- 看護師は増加傾向にあり、准看護師は減少傾向にあります。
- 令和2年と10年前の平成22年と比較すると、看護師は平成22年1,478人(人口10万対814.6人)、令和2年1,630人(人口10万対1,040.5人)で152人の増加、准看護師は平成22年852人(人口10万対469.5人)、令和2年607人(人口10万対390.4人)で245人の減少となっています。

【看護師・准看護師の状況】

	平成14年 (2002年)	平成16年 (2004年)	平成18年 (2006年)	平成20年 (2008年)	平成22年 (2010年)	平成24年 (2012年)	平成26年 (2014年)	平成28年 (2016年)	平成30年 (2018年)	令和2年 (2020年)
看護師	1,385	1,391	1,435	1,437	1,478	1,536	1,555	1,628	1,665	1,630
准看護師	935	936	917	864	852	779	762	768	728	607

* 地域保健情報年報(看護師等従事者届)

各年12月末現在

(保健師・助産師の状況)

- 令和2年と10年前の平成22年と比較すると、保健師は平成22年93人(人口10万対51.3人)令和2年96人(人口10万対61.8人)で3人の増加となっています。
- 助産師は平成22年19人(人口10万対10.5人)、令和2年21人(人口10万対13.54人)で2人の増加となっています。

【保健師・助産師の状況】

職 種	平成14年 (2002年)	平成16年 (2004年)	平成18年 (2006年)	平成20年 (2008年)	平成22年 (2010年)	平成24年 (2012年)	平成26年 (2014年)	平成28年 (2016年)	平成30年 (2018年)	令和2年 (2020年)
保健師	101	105	96	93	93	92	91	96	94	96
助産師	44	24	21	23	19	22	22	22	22	21

* 地域保健情報年報(看護師等業務従事者届)

各年12月末現在

(歯科衛生士の状況)

歯科衛生士は増加傾向にあり、令和2年と10年前の平成22年と比較すると、平成22年116人(人口10万対63.9人)、令和2年149人(人口10万対95.8人)で33人の増加となっています。

【歯科衛生士の状況】

職 種	平成14年 (2002年)	平成16年 (2004年)	平成18年 (2006年)	平成20年 (2008年)	平成22年 (2010年)	平成24年 (2012年)	平成26年 (2014年)	平成28年 (2016年)	平成30年 (2018年)	令和2年 (2020年)
歯科衛生士	89	99	118	120	116	123	111	130	137	149

* 地域保健情報年報(歯科衛生士従事者届)

各年12月末現在

(主な病院従事者の状況)

理学療法士、作業療法士、放射線技師、臨床検査技師・衛生検査技師が増加傾向にあり、令和2年では、10年前の平成22年と比較して、理学療法士9.2人(14.6%)、作業療法士20.9人(60.0%)、放射線技師8.9人(17.8%)、臨床検査技師・衛生検査技師17.8人(26.7%)の増加となっています。その他の医療従事者については、下表のとおりになっています。

【主な病院従事者の状況】

職 種	平成18年 (2006年)	平成20年 (2008年)	平成22年 (2010年)	平成24年 (2012年)	平成26年 (2014年)	平成28年 (2016年)	平成30年 (2018年)	令和2年 (2020年)
理学療法士	51.1	55.1	62.8	63.4	70.0	74.5	77.2	72.0
作業療法士	19.0	29.0	35.0	37.0	45.0	51.2	50.2	55.9
管理栄養士	28.8	28.7	25.8	23.7	25.6	25.9	26.8	23.6
栄養士	2.0	3.9	2.0	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0
放射線技師	65.4	63.5	49.9	66.1	64.2	64.2	61.2	58.8
臨床検査技師・衛生検査技師	79.2	70.8	66.6	65.3	66.6	65.4	65.0	84.4
視能訓練士	4.9	5.8	4.4	3.9	4.6	4.3	4.4	4.7
言語聴覚士	4.9	6.0	6.0	7.0	8.0	9.0	11.0	7.0
臨床工学士	22.0	22.9	25.0	28.0	27.2	30.6	30.6	26.2

* 地域保健情報年報(病院報告)、常勤換算

各年10月1日現在